

文教速報

= 隔日刊 月・水・金 =
(但し 祭日休刊)
月 額: 7,020 円
(うち消費税 520 円)
(うち消費税 520 円)

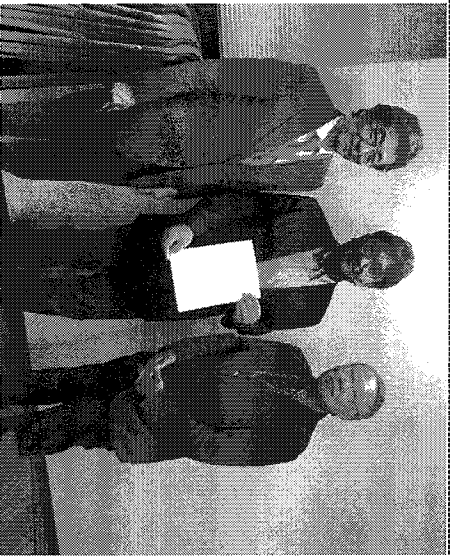
官庁通信社
〒101-0041
東京都千代田区
神田須田町 2-13-14
総務部
(03)3251-5751
FAX 5753
編集部
(03)3251-5755
FAX 5753
E-mail: bunkyo@
kancho-t.com

平成 29 年 10 月 13 日 (金曜日) 第 8484 号

「流出超過分野で確保すべき定員」など議論 文科省が大学分科会将来構想部会で論点例

- ◎ 女性が復職しやすい環境整備促進: 2
- ◎ 有識者会議が初会合 年度内に方向性
基礎的経費減少で老朽化が深刻に: 3
- ◎ 五神東大総長が財政審分科会で報告
- ◎ 名工大「産官金連携機構」設置: 4
- ◎ 新潟大 厚労省新潟労働局と協定: 5
- ◎ 岩手大 三陸連携会議と協定: 5
- ◎ 鳥取大に地域価値創出機構が発足: 6
- ◎ 福井大にこころの専門医育成部: 6
- ◎ 東大が産育とコンソ設立: 7
- ◎ データサイエンス人材を育成
- ◎ 国大協が国大広報担当者連絡会: 8
- ◎ 山口大教授がベトナムで事業展開: 9
- ◎ 金沢大で英語による授業担当者研修: 12
- ◎ 奈安大・香川大・北見大・島根大: 12
- ◎ 信州大・富山大・長岡技大・鳴科大: 14
- ◎ 愛教大で親子ものづくり教室: 16
- ◎ 本省の10月1日係長等人事: 17
- ◎ 八戸高専・新居浜高専・福井高専: 19
- ◎ 香川高専・鶴岡高専・京博: 20
- ◎ 東工大次期学長候補者に谷氏: 22
- ◎ 東大農学部 11月に公開セミナー: 23
- ◎ 大学の将来構想と経営資源戦略: 23
- ◎ 大学が11月にシンポジウム
- ◎ 通知
- ◎ 附属学校の政治的中立性確保について: 23
- ◎ 今後の話題
- ◎ 公益法人約9,460法人に: 22

国立大病院長会議が30年度診療報酬改定で要望



理事長(左)に要望書を提出する左から山本常置委員長(千葉大病院長)、私立大学協会の小山義務執行理事

国立大学附属病院長会議の山本常置委員長は、千葉大学医学部附属病院長(日本私立医科大学協会)小山義務執行理事(病院担当)とともに平成30年度の診療報酬改定に関する要望のため、9月25日に厚生労働省を訪問し、病院の厳しい経営状況を強く訴え、大学病院の機能向上に資する改定について格段の配慮を要請した。

同日は、全国医学部長病院長会議、国立大学附属病院長会議、全国公立大学附属病院長・事務長会議、日本私立医科大学協会の4団体による要望事項として、特定入院料に係る算定上限日数等の要件緩和について「重症度・医療・看護必要度」に係る評価指標の見直し、病棟薬剤業務実数加算の3項目に関して、保険局の迫井医療課長に趣旨を説明した。

また、国立大学附属病院長会議からまとめられた要望事項についても説明し、国立大学附属病院への理解を求めた。

鳴教大図書館 小中学生の夏休み自由研究を支援

鳴教大図書館では8月10日から31日にかけて、小中学生を対象とした自由研究に役立つ展示「調べよう、考えよう、環境のこと」を開催した。

この展示会は、小・中学生が環境問題を通して消費について理解を深めることで、地域における消費教育を推進することを目的とするもの。昨年7月に発足した「鳴教大消費教育プロジェクト」の構成員である同大大学院田村和之准教授(専門・環境教育)監修のもと、小・中学生向けの環境関連図書多数展示し写真下二



するとともに、同大生が作成した「自由研究の進め方」のパネル展示、自由に使用できる文房具を揃えるなど、自由研究に取り組みやすい環境を整備した結果、期間中、多数の小・中学生が来館した。また会期中には、田村准教授による講演「ゴミのはなしが行われ」写真上、1日のゴミ排出量や、ゴミの種類と処理方法、ゴミを減らすための取組などについて、時折質問を繰り返しながら、1時間にわたり語られた。25名の小中学生や保護者が参加し、田村准教授からの問いかけに対し熱心に回答する小学生の姿がみられた。同図書館では、小・中学生を対象とした夏休みの自由研究支援は初めての試みであったが、今回の成功を受け、今後も同様の展示を実施することとしている。



愛教大が親子体験教室「ものづくり教室」を開始

愛知教育大学では9月30日から刈谷市教育委員会と北部生涯学習センターと連携し親子体験教室が始まった。この教室は北部生涯学習センターでスポーツやものづくりなど通じて楽しみながら親子の触れ合いを育んでもらい、併せて生涯学習の推進に取り組んでいるもの。



子どもたちをサポートする愛教大技術教育講座

愛教大と連携した教室は、2012年度から毎年開催されている。小中学生を中心とした親子を対象で、ものづくり教室やハンドボード



キリの使い方を教える征准准教授

を楽しむ
ル教室 科学実験やペン画教室など全6回の教室を開いており、刈谷市内の多くの親子が楽しみ、体験しながら学んでいる。
1回目の教室は愛教大技術教育講座の磯部征准准教授による「ものづくり教室」で、木工による写真立てや小物入れづくりに挑戦。愛教大技術教育講座の学生サポートによる協力のもと、子どもたち道具の使い方や組み立てるときのコツなどを教えながら作品づくりに取り組んだ。今年度は1月末までに、ペン画教室や科学実験、ハンドボード教室などが行われる予定だ。

